

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成 28 年 12 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) インフルエンザの流行状況について

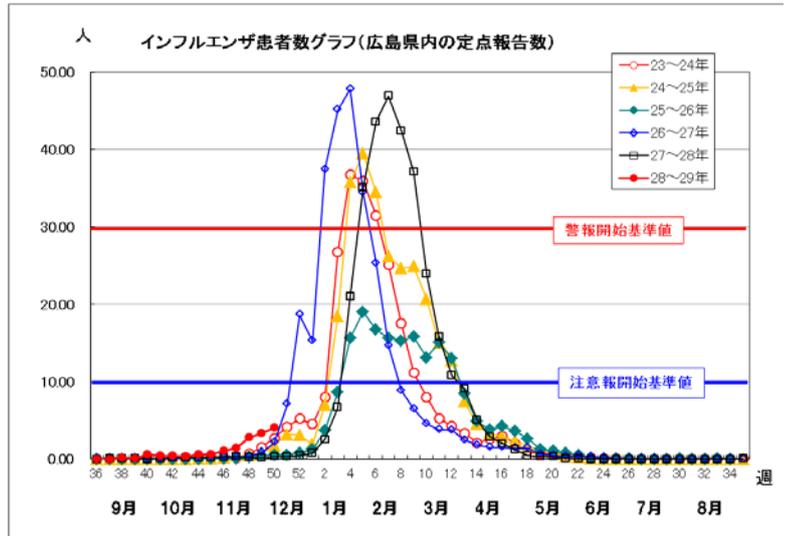
流行中 !!

平成 28 年第 46 週 (11 月 14 日から 11 月 20 日) の定点医療機関からの報告患者数が、定点当たり 1.09 (報告患者数 : 125 人) となり、流行入りの目安としている 1.0 を上回りました。

インフルエンザが「流行シーズン」に入ったと考えられることから、平成 28 年 11 月 25 日 (金)、流行入りの広報を行いました。昨シーズンより 2 か月早い流行の始まりとなりました。

現在、インフルエンザ様疾患の集団発生 (いわゆる「集団かぜ」) も報告されています。

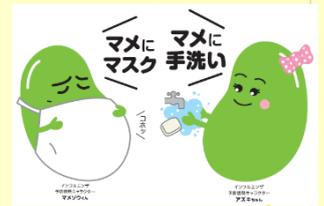
次の点を参考に、引き続き感染予防、感染拡大防止の徹底をお願いします。



インフルエンザ ひろしま CDC 検索

■インフルエンザを予防するための注意点

- こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度 (50%~60%) を保ちましょう。
- 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- インフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
 - ・咳・くしゃみの症状がある場合は、マスクを着用する。
 - ・咳・くしゃみの際には、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむける。
 - ・鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。



(2) 感染性胃腸炎の流行状況について

警報発令中 !

感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、患者の便や吐物から人の手などを介して、人から人へ感染する場合や、二次汚染した食品から感染する場合などがあります。

ノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染予防及び流行拡大防止の徹底をお願いします。

なお、最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。

感染性胃腸炎 ひろしま CDC 検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年11月分(平成28年11月7日～平成28年12月4日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	687	1.49	0.20	↑	11	ヘルパンギーナ	37	0.13	0.07	↓
2	RSウイルス感染症	300	1.04	1.63	↘	12	流行性耳下腺炎	179	0.62	0.63	→
3	咽頭結膜熱	123	0.43	0.54	→	13	急性出血性結膜炎	3	0.04	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	517	1.80	1.81	↗	14	流行性角結膜炎	108	1.42	0.89	↗
5	感染性胃腸炎	5,835	20.26	7.37	↑	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	182	0.63	1.26	↘	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.03	
7	手足口病	147	0.51	0.60	↘	17	マイコプラズマ肺炎	46	0.55	0.31	→
8	伝染性紅斑	68	0.24	0.26	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	82	0.28	0.50	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	6	0.02	0.05							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	37	1.61	2.30	↘	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	65	3.10	5.00	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	15	0.65	0.75	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	11	0.52	0.73	↗
22	尖圭コンジローマ	7	0.30	0.63	↓	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.04	
23	淋菌感染症	21	0.91	1.04	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 **インフルエンザ** (0.47 → 1.49)
- 急増疾患 **感染性胃腸炎** (8.58 → 20.26)
- 急減疾患 **ヘルパンギーナ** (0.43 → 0.13)
- 急減疾患 **尖圭コンジローマ** (0.78 → 0.30)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)[西部保健所(4), 東部保健所(5), 北部保健所(4), 広島市保健所(6), 呉市保健所(5), 福山市保健所(5)]
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症(1)[広島市保健所(1)]
四類	24	つつが虫病(20)[西部保健所(10), 西部東保健所(2), 北部保健所(1), 広島市保健所(6), 呉市保健所(1)], マラリア(1)[広島市保健所(1)], レジオネラ症(3)[東部保健所(1), 広島市保健所(1), 呉市保健所(1)]
五類全数	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)[東部保健所(1)], 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)[広島市保健所(1)], 後天性免疫不全症候群(1)[広島市保健所(1)], 侵襲性肺炎球菌感染症(1)[福山市保健所(1)], 梅毒(6)[西部東保健所(1), 広島市保健所(3), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)]